

東京都内の「電車・駅での痴漢」、「盗撮」被害と対策 についての調査結果

注：被害の具体例の記載があります。

2021年12月6日

日本共産党東京都議会議員団

痴漢や盗撮の被害が後をたちません。日本共産党東京都議団は、深刻な人権侵害であり性暴力である痴漢・盗撮の加害をなくし、誰もが安心して暮らせる東京にと、本年2月25日の米倉春奈都議の本会議一般質問をはじめ都議会で繰り返し問題提起や対策を求めてきました。

そうした中、第4期東京都犯罪被害者等支援計画の「都内における犯罪等の現状」のなかに痴漢被害についての記述がされるようになりました。また、都の男女平等参画審議会の「男女平等参画推進計画・中間まとめ」についての議論のなかで痴漢対策が提起されるなどの前進がありました。

しかし、都の取り組みは、これからです。「痴漢・盗撮ゼロの東京」にするためには、都としての取り組みを抜本的に強化することが必要です。

そこで私たち日本共産党都議団は、対策強化に取り組むうえで被害実態を被害者の切実な声を把握することが重要と考え、「電車・駅での痴漢」「盗撮」被害に焦点をあててアンケート調査を実施しました。11月14～23日の10日間に寄せられた1192人分を集計しました。その結果をお知らせします。

【結果の特徴】

- 電車内の痴漢被害は、満員電車に限らず空いている時にも発生している。200人以上が「性器を触られた」と回答するなど深刻な状況。揺れに合わせて触るなどの手口で、被害者がショックと同時に「勘違いじゃないか」と言われると懸念し声を上げづらい。
- 盗撮被害にあう場所は、1位が「公共の乗り物」、2位が「公共の場所」、3位が「駅構内」で、鉄道での対策が求められていることが、浮き彫りになった。
- 友達や学校で、痴漢・盗撮被害の話が出ると答えた人は77%（学生または22歳以下の方に尋ねた質問）。「何度も中学高校の始業前に、その日の通学中に遭遇した痴漢の話友達に聞いた。下着の中に手を入れられショックで泣きながら話している子もいた」など、日常的に被害にさらされていることが浮き彫りになった。
- 痴漢をなくすための対策としては、人権教育、性教育、ジェンダー平等社会の実現を選択した方が多く、根本的なとりくみが求められる。警察による取り締まりの強化や厳罰化を求める声も多く、被害を軽く扱われたり泣き寝入りしたりしている現状を反映している。ポスターや駅員、警察の対応の改善、ネット等の痴漢・盗撮コンテンツ、盗撮カメラの販売の規制を求める声も多い。
- 対策として半数以上が女性専用車両が必要だとし、終日設置、夜間設置、導入路線や1編成中の車両数を増やすなど、増設の要望が多数寄せられた。また、女性専用者車両への理解を広げることも求められている。

【調査の概要】

調査方法：インターネット（Google フォーム）を利用した匿名調査。質問項目は別紙 2 参照。

調査期間：2021 年 11 月 14～23 日

回答数：1192 名

【結果の概要】

1、回答者の属性

- ・回答者の性別は、女性（女、女性、シス女性など）が 96%、男性（男、男性など）が 2%、その他の記載が 2%でした。
- ・年齢構成は 19～29 歳が約 4 割（39%）、30 代が 33%、40 代が 18%、50 代が 6%、60 代以上が 1%でした。18 歳以下も 38 人（3%）から回答がありました。

【性別】

	人数	割合
女性	956	96%
男性	18	2%
その他	18	2%
計	992	
無回答	200	

【年齢】

	人数	割合
18歳以下	38	3.2%
19～29歳	465	39.0%
30代	388	32.6%
40代	211	17.7%
50代	74	6.2%
60代以上	15	1.3%
計	1192	

2、利用路線

- ・利用路線（複数回答）は多い順に、JR 796 人（76%）、東京メトロ 344 人（33%）、東急 182 人（17%）でした。
- ・都営交通は 4 番目で、142 人（14%）が利用路線として回答しました。

【利用路線】

	人数	割合
JR	796	75.9%
メロ	344	32.8%
東急	182	17.3%
都営	142	13.5%
小田急	139	13.3%
西武	125	11.9%
京王	122	11.6%
東武	62	5.9%
京急	39	3.7%
京成	32	3.1%
回答数	1049	
無回答	143	

都営線の内訳	人数
都営浅草線	46
都営三田線	43
都営新宿線	49
都営大江戸線	60
都電荒川線	6

3、痴漢被害の状況

- 「電車内で痴漢にあったことがある」と回答したのは89.8%でした。一方、「電車内で痴漢を目撃したことがある」は29.7%でした。多くの人が車内にいると考えられるにもかかわらず、周囲が気づきにくい状況が、改めて浮かび上がりました。

【電車内で痴漢にあったことがある】

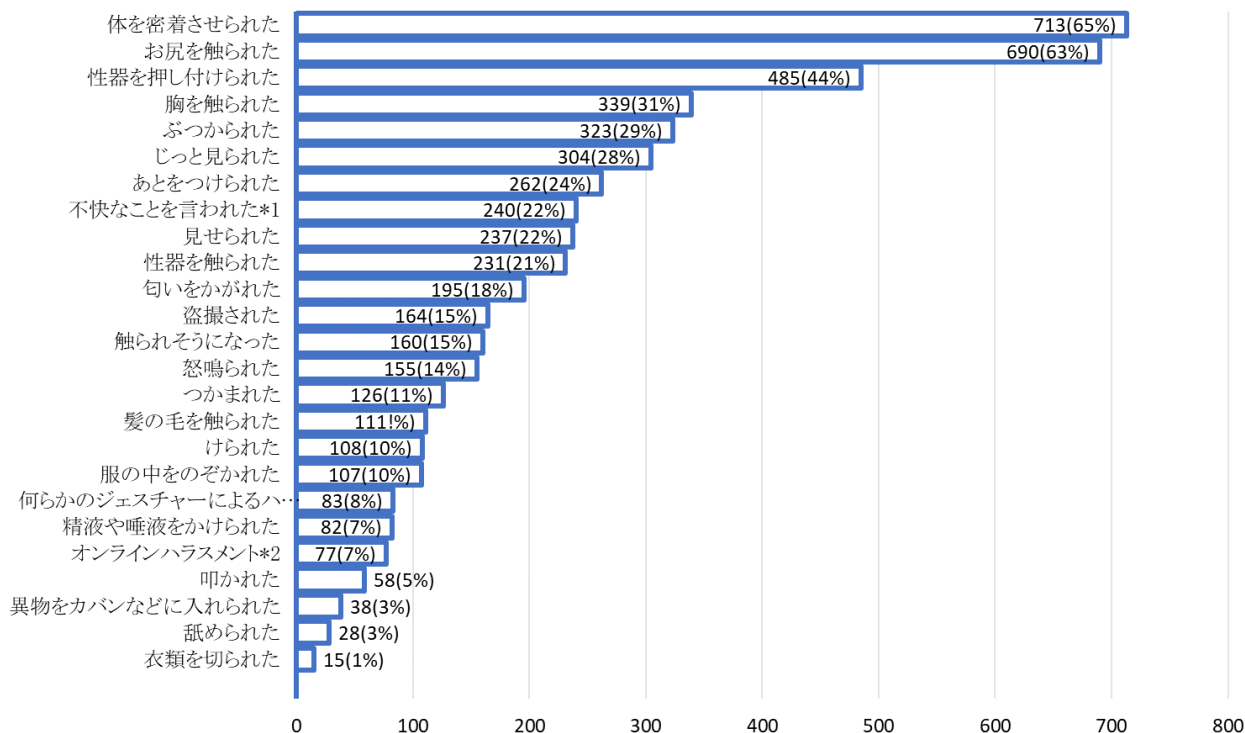
	人数	割合
はい	1070	89.8%
いいえ	122	10.2%
計	1192	

【電車内で痴漢を目撃したことがある】

	人数	割合
はい	354	29.7%
いいえ	838	70.3%
計	1192	

- 具体的な状況では、「体を密着させられた」「お尻を触られた」「性器を押し付けられた」が特に多く、満員電車に乗じた行為と考えられます。「性器を触られた」との回答も231人(21%)からあるなど深刻です。また、電車を降りる時や、電車の揺れに合わせて触ったり、寝たふり、酔ったふり、具合の悪いふりをして痴漢をするなどの状況があります。満員電車だけでなく空いている電車でも起きていました。
- 痴漢や盗撮にあったとき、被害者は驚いて体が固まり行動に移せない上に、「勘違いじゃないか」と言われると思ってさらに声を上げづらくなっています。
- 声を上げても、周囲に知らないふりをされる場合も少なくなく、駅員や警察に訴えたときにも対応が不適切で傷ついたという声が多数ありました。

【どのような被害をうけたか】(回答者数1100人)



*1 胸大きいね、1万円はどう? など、*2 性的画像などをエアドロップ機能などで送り付けられる

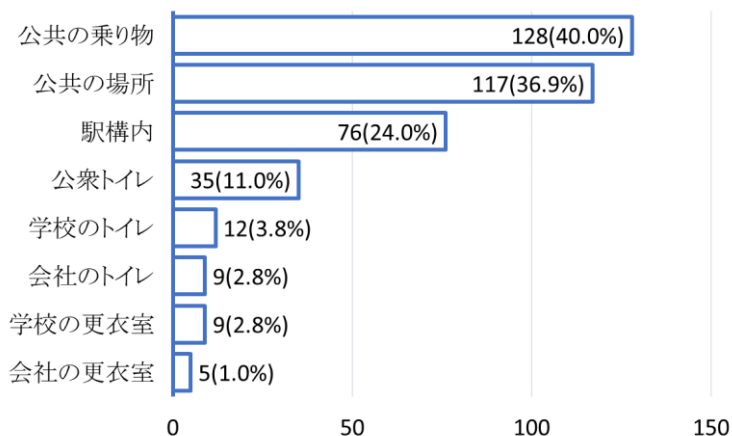
5、盗撮被害の状況

- 「盗撮されたことがある」と回答したのは 24.6%、「盗撮を目撃したことがある」は 20.6%でした。

【盗撮されたことがある】			【盗撮を目撃したことがある】		
	人数	割合		人数	割合 (1070)
はい	293	24.6%	はい	245	20.6%
いいえ	899	75.4%	いいえ	947	79.4%
計	1192		計	1192	

- 盗撮された場所の 1 位は「公共の乗り物」、3 位が「駅構内」で、鉄道施設での被害が多くなっています。駅構内の具体的な場所は、エスカレーターが最も多く、ホーム、階段、トイレも多くあげられました。2 位の「公共の場所」では路上と商業施設をあげた人が多く、他にもイベント、図書館、公園、プールなど多岐にわたりました。
- 具体的な記述では、足の間にカメラの入ったバッグを入れられたり、シャッター音で気づいたりする例が多く、周りの人の指摘や犯人が捕まったことでわかったという回答もありました。スカートの中など衣服で隠れる場所だけでなく、いきなり顔を撮影された、動画をとられたという声も多数ありました。

【盗撮された場所】(回答数317)



6、友達や学校で痴漢や盗撮の話が出るか、学校の状況

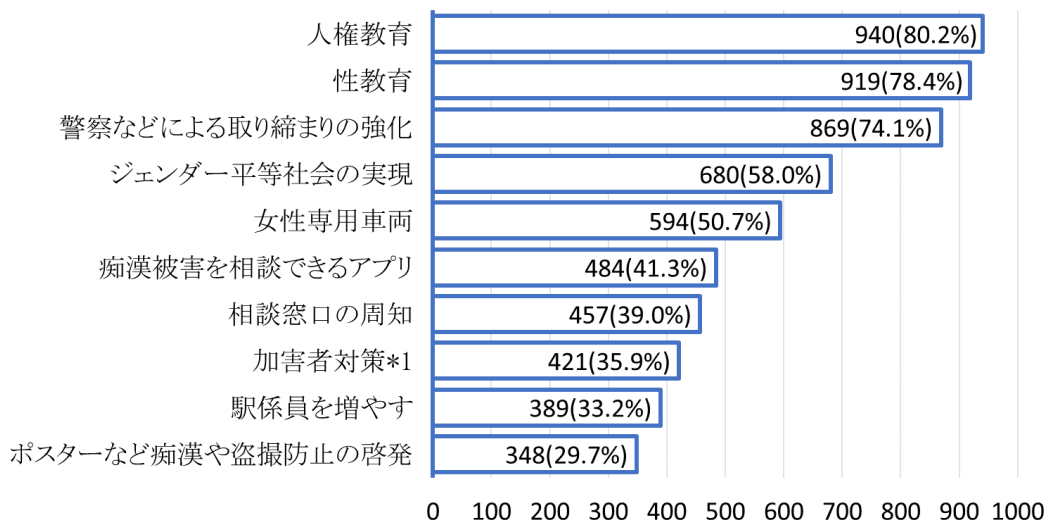
- 学生または 22 歳以下の方に尋ね、131 人から回答がありました。77%が話が出る、20%が出ない旨の内容を記載してくれました。
- 「何度も中学高校の始業前に、その日の通学中に遭遇した痴漢の話を友達に聞いた。下着の中に手を入れられショックで泣きながら話している子もいた」など、日常的に被害にさらされていることが浮き彫りになりました。
- 同性の友達と話すことが多く、学校からの呼びかけは、先生が「見守る対策」を行なった、注意喚起があったという回答の 2 件しかありませんでした。
- 「告発したせいで大騒ぎになると『私のせいでこうなったのかな?』と罪悪感を強く感じるので、被害に遭っても先生や親には言えません」「思いついたくないから話すのにはとても勇気がいる」という回答もありました。

7、痴漢や盗撮をなくすための対策

(1) 痴漢や盗撮をなくすために必要だと思う対策

- ・痴漢や盗撮をなくすための対策として約 8 割の人が選択したのが「人権教育」と「性教育」です。記述欄では学校の対応の改善を求める声も多く寄せられています。ジェンダー平等社会の実現も約 6 割の人が必要な対策だとしています。
- ・74%が警察などによる取り締まりの強化を求め、記述欄では監視カメラの設置や痴漢・盗撮の厳罰化を求める声がありました。背景として、被害者は声が上げられない実態や、冤罪を訴えられることへの不安、また、痴漢・盗撮被害を軽くとらえないでほしいという声が多く寄せられています。
- ・女性専用車両を求める声も 5 割を超えています。
- ・その他の記述欄の特徴として、ポスターの改善に関することや、駅員や警察官の対応、また学校に相談できるシステムを求める声、被害が起きた際の第 3 者の意識についての記述が多くありました。さらに、ネット上や AV 等の痴漢・盗撮コンテンツの禁止を求める声や、ペン型や時計型など盗撮に使えるカメラの販売・購入に対する規制を求める声が多くありました。

【痴漢や盗撮をなくすために必要だと思う対策】(回答数1172)



*1再販防止のための構成プログラム

(2) 女性専用車両への要望

- ・女性専用車両のある電車を利用している人のうち、45%が「女性専用車両を使う」と回答し、半数近くは積極的に利用していました。「使いたいけれど状況による」人も含めれば、85%以上の人が、女性専用車両の利用希望があることがわかります。
- ・「利用している電車に女性専用車両がない」のは 159 人（全回答の 13.6%）でした。

【女性専用車両を使うか】

	人数	割合
はい	456	45.0%
使いたいけれど、状況による	416	41.1%
いいえ	141	13.9%
計	1013	
利用している電車に女性専用車両がない	159	

- ・女性専用車両に対する要望の記載で最も多かったものは、女性専用車両を増やすことです。「終日運転してほしい。夜もひどい」など、女性専用車両の終日化、夜間設置を求める声と、導入路線と絵1編成中の車両数を増やしてほしいという声が寄せられました。
- ・次に多い要望は、女性専用車両があることへの理解を広げることや、女性専用車両で嫌がらせする人への対応です。
- ・女性専用車両の位置の改善や遅延などで車内が混雑する際に女性専用車両を中止することをやめてほしいという声も多く寄せられました。

以上

【参 考：駅に貼られているポスター、ステッカー】



*性犯罪の問題で周知すべき角度は、責められるべきは加害行為であること、被害者も第三者も被害があったら何をすべきかわからないという不安や疑問にこたえる内容であること、被害者は保護されることが明確であることなどですが、必ずしもそうになってなく、大半は「自衛」を求めるものです。